

令和元年12月定例会議事録

令和元年12月4日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和元年12月4日(水)
15時から17時まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中野健作
教育長職務代理者	風呂井敬
教育委員	蓑田繼男
教育委員	黒羽子ひとみ
教育委員	早川雅子

○関係者

教育次長	深水俊彦
教育総務課長	牧口充文
学校教育課長	安藤晋哉
生涯学習課長	穂園正幸
教育総務課課長補佐	柿内徹
教育総務課管理係長	中村あけみ
地域活力推進課長	郷原信一

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
議案第27号 令和元年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について
- 5 報告
 - (1) 令和元年度鹿屋市立看護専門学校専任教員採用試験について
 - (2) 世界とつながるイングリッシュキャンプについて
 - (3) 鹿屋市生涯学習基本構想素案について
 - (4) 令和元年度鹿児島県芸術文化奨励賞受賞（個人の部）について
 - (5) 令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰について
 - (6) 令和元年度人権問題講演会について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
議案第27号	令和元年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	学校から例年より早くインフルエンザ流行の報告がある。手洗いうがいの徹底を指導している。また、12月議会が始まり多数の質問を受けた。次年度に向けて予算との兼合いもあるが、就学援助等の計画や、家庭における生活のあり方等、教育指導の支援運動に取り組む。
2	前回の議事録の承認
教育長	異議無く承認
3	教育長及び委員の報告
養田委員	混合名簿について新聞記事に掲載されていたが、鹿屋市ではどのように考えているのか。
早川委員	以前、混合名簿使用校は半々と聞いたが従来名簿が多いという事でよいか。
教育長	混合名簿について、教育委員会では学校長の判断としている。他県は、早い段階で混合名簿に変更している学校が多い。鹿屋市内の小中学校はまだ少ない。
学校教育課長	現在、鹿屋市校区の小中学校が混合名簿を使用しているは、小学校は5校、中学校は2校の計7校である。
4	議事
	(1) 議案第27号 令和元年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について
生涯学習課長	資料に基づき説明
風呂井委員	例年より表彰者が多いように感じるが推薦枠が広がったのか。
生涯学習課長	小中高等学校へも幅広く通知し、個人団体の推薦を募った。
黒羽子委員	功労実績とは何か決まりがあるのか。また、「長年にわたる」と記載がある方とない方がいるが、実績年数を表記するなど有無を統一した方がよいのではないか。

生涯学習課長	実績年数は、内規では5年以上の活動が条件である。推薦書に活動年数の記載がないものもあり、「長年という」記載にしたが、表記は統一をする。
風呂井委員	表彰者、表彰団体の昨年度比を知りたい。
生涯学習課長	個人表彰は、昨年から4名増加の5名で、団体表彰は、昨年から1団体増加の3団体である。
教育長	原案可決とすることに異議はないか。 (異議なしとの発言)
教育長	異議がないので、議案第27号は、原案可決とする。
5	報告
教育総務課長	(1) 令和元年度鹿屋市立看護専門学校専任教員採用試験について 資料に基づき説明
学校教育課長	(2) 世界とつながるイングリッシュキャンプについて 資料に基づき説明
教育長	高校生にもう少し参加してほしい。
風呂井委員	毎回、一度のキャンプで完結する内容だと思うが、小学生の時の参加者が中学生、高校生になってから参加をすることがあるのか。自主的な参加なのか。
学校教育課長	半数はリピートの参加者であると把握している。
黒羽子委員	小中学校別に分析はしていないのか。
学校教育課長	小学生の参加理由の多くは、英語指導講師からの参加の声かけである。英語指導講師は各小学校に配置されており、小規模校からの参加も

	<p>あったことから声かけは効果があると考え。しかし、英語指導講師の声かけに頼らず、学校全体で声かけを増やすことも不可欠である。英語指導講師が積極的な学校からの参加が多い。</p>
<p>蓑田委員</p>	<p>A L T が在籍している学校ではどうなのか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>A L T の影響による参加より、子ども自身の興味関心が大きい。今年、A L T 委託で進めているが、A L T が途中で交代するなどの状況があり課題がある。A L T との連携について、学校と協議しなければならない。</p>
<p>早川委員</p>	<p>高校生には、指導者的な役割を期待したプログラムがあるのか。また、参加高校は分かるのか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>鹿屋女子高校から2名、鹿屋高校から2名の計4名の参加であった。活動でグループ活動をする際にリーダーの役割があるが、すべての活動を通して指導者的な役割があったということではない。</p>
<p>教育長</p>	<p>参加した高校生は、自信を持ってプログラムを終えたという感想であった。</p>
	<p>(3) 鹿屋市生涯学習基本構想素案について</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>資料に基づき説明</p>
<p>早川委員</p>	<p>シングルマザーが就職する際に、簿記の知識等、就労するために教育を受ける機会はないのか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>シングルマザーや一人親家庭に限定した就労講習や、パソコン操作の講習ではないが、一般募集で公民館・地区学習センターやリナシティ、勤労者交流センターで講習を実施している。</p>
<p>早川委員</p>	<p>リナシティで講習利用するにも制限があるため、利用しやすいようにできないのか。</p>
<p>教育次長</p>	<p>現状把握しているのは、職業安定所で職業支援制度があり、パソコンを使用した会計事務の講習、介護関係の講習や就労支援、トライアル事業や助成金制度がある。就労目的の学びという括りでは同等であり、情</p>

	報収集し紹介できるようにしたい。
蕘田委員	鹿屋市内のビジネススクールで受講者を多く見かけることがある。スキルアップ等に生かしているのだと思う。
早川委員	ビジネススクールを経て再就職している方も多いことから、就職に役立っているのだと思う。
風呂井委員	講習期間は6ヶ月であり、十分な講習期間であるといえる。
教育長	生涯学習を窓口に、講習の種類や受講場所を案内できることが望ましい。
風呂井委員	基本構想を立てるのは教育委員会では生涯学習課のみなのか。
生涯学習課長	生涯学習基本構想策定の事務局が生涯学習課であり、条例に基づき市長が定めることになっている。教育委員会部局のみの構想に留まらず、市長部局の各関係課で構想を立てる。
教育次長	大綱を基に教育振興基本計画がある。教育委員会で一例を挙げると、教育総務課は学校規模適正化計画、学校教育課はICT情報化推進計画、生涯学習課は子ども読書推進計画など、個別計画の体系がある。
教育長	教育振興基本計画の下に個別計画が各課複数あるが、鹿屋市生涯学習基本構想素案は、市条例に基づき生涯学習課が担当した。
風呂井委員	教育委員会の以外の各課との連携があるのか。
生涯学習課長	生涯学習課を事務局としており、各担当課と連携を必要とするものに出前講座があり、防災学習、健康講座など30数講座ある。推進体制は推進本部会に、市長、副市長、教育長、各部長がメンバー、行政連絡会議は各課長がメンバーである。
風呂井委員	学校教育課の基本構想は、学力向上について具体的な計画はあるのか。
学校教育課長	学校教育課は、教職員の授業力向上が最大の課題である。体系的には、授業力の向上、望ましい学習集団づくり、学習環境の充実の3つを

	<p>柱に、他関係機関と連携する事が必要である。授業力向上に関しては教職員の研修実施計画に基づいて実施する。これは5年間先を見通し、ミドルリーダーを育成し、その人材を核として研修会で関わりを持たせ実施していく。また、県総合教育センターと研究提携校である鹿屋小中学校の取組みは継続していく。</p>
風呂井委員	最終的な数値目標等があると思うが。
学校教育課長	教育振興基本計画にあり数値目標も立てているが、具体的な内容を来年度、再来年度に向け計画をし、見える化する。
	(4) 令和元年度鹿児島県芸術文化奨励賞受賞（個人の部）について
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	鹿屋在住の方が受賞しただけでなく、独学で音楽の勉強をして評価されることに感激した。
早川委員	話を聞いてみたい。
生涯学習課長	学生時代にギターで弾語りをしていたようだが、特に幼少期から音楽に関わっていたことではなかったらしい。
教育長	曲を披露する機会を設ける計画や、市長表敬の予定はしていないのか。
生涯学習課長	市長表敬を計画している。
	(5) 令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰について
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	平成28年以降、毎年表彰者がいることは盛んに活動に取り組んでいることの評価であり喜ばしいことである。今後も期待したい。
黒羽子委員	表彰に至る流れを伺いたい。
生涯学習課長	推薦の募集が、県教育委員会からあり、教育事務所を經由し各市町村にある。推薦を集計し、県教育委員会が審査したものを文科省に推薦す

	る流れである。県内の推薦数は不明ではある。
生涯学習課長	(6) 令和元年度人権問題講演会について 資料に基づき説明
教育長	今回の講話は虐待についても含まれた内容だったため、講師の講話内容も重いものとなったが勉強になる良い機会となった。
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
地域活力推進課長	中高生タイ王国ホストタウン事業について 資料に基づき説明
風呂井委員	鹿屋体育大学との連携が必要ではないのか。
地域活力推進課長	鹿屋体育大学とも協議したが、合宿受入れ等の関係もあり今回は、バレーボール協会との連携を考慮した。
蓑田委員	中学校3年から高校2年生を対象としているが、このスケジュールだと時期的に中学校3年は、進学準備等と重なるのではないか。しかし、バレーボールに関わる生徒にとっては、良い刺激と勉強になると思う。
黒羽子委員	なぜ対象は女子バレーボールチームなのか。
地域活力推進課長	現在、女子バレーボールチームの方がオリンピック出場の可能性が高いことと、これまでの交流も女子中心だったためである。
生涯学習課長	生涯学習課行事について 資料に基づき説明
教育総務課長	鹿屋市教育大綱第2期の進捗について 資料に基づき説明

教育長	パブリックコメントはいつになるか。
教育総務課長	<p>大綱はパブリックコメントには諮らない。総合教育会議で、教育委員の意見を元に市長が定めることになっている。確定時期は、教育振興基本計画のパブリックコメント実施前としており、今月半ばに確定の予定である。</p> <p>鹿屋女子高校新校舎ポスター掲示について</p>
蓑田委員	市役所6階のエレベーター正面に、女子高のポスターが掲示されているが、他機関にはどの程度配布されているのか。
教育総務課長	<p>県内の中学校に掲示している。他に、市内の商業施設、銀行、直行バスには一時掲示した。今月24日に、中学校3年生の女子生徒向けに施設見学会を実施する予定である。</p> <p>次回の定例教育委員会は、令和2年1月8日（水）16時00分から教育長室で行う。</p>
8	閉会
教育長	<p>以上をもって12月定例教育委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>